

【代表的な研究テーマ】

- **地力発掘型インターンシップ：「目に見えない価値」を共有する産学共育**
- **静大フューチャーセンター：地域課題解決に向けた未来志向による対話の場**

Keyword：インターンシップ，キャリア教育，地域活性，地域課題

研究の概要

1. 地力発掘型インターンシップ

学生も受け入れ先も成果が得られるインターンシップを開発しています。

地力とは本来備わっている力のことを指し、学生が企業等でのインターンシップに取り組む際、職場のチームワークや経営者のリーダーシップなど「目に見えない価値」に着目することで、企業と学生との相互理解を高め、長期的課題の着手や若者から見た企業の強みなどの地力を引き出すことにもつながります。

2. 静大フューチャーセンター

複雑化・多様化する地域課題に対して、学生を含めた多様な立場の人材が加わり、未来志向の対話によって解決の糸口を見つけていきます。大学内での定例開催のほか、これまで多くの地域に学生が出かけ対話の場を開催しています。



アピールポイント

●期待と思惑のズレを解消

インターンシップや地域課題解決の場面では、「受け入れ先」「学生」「大学」それぞれの期待と思惑があり、多くの場合ズレが生じます。そのズレを解消し、成果を上げるためのお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

●当事者意識の醸成

大学が、インターンシップやフューチャーセンターを通して学生に身につけてほしいと考えているものの1つに「当事者意識の醸成」が挙げられます。社会に出ると「コミュニケーション力」や「課題解決能力」が求められると言いますが、能力だけでなく、それらの土台となる「当事者意識」を持つことがさらに重要であり、このことが自らのキャリアを切り拓く力になるとともに、課題解決の担い手となる条件となります。しかしこのことは学生だけでなく、企業や地域においても求められ、まさに産学での「共育」を実践する必要があります。



宇賀田 栄次

学院融合グローバル領域
学生支援センター
准教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・インターンシッププログラムの策定や開発
- ・地域課題解決へのアプローチ
- ・人材育成・定着

■ その他の社会連携活動

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム インターンシップ推進委員会 委員長
特定非営利活動法人仕事楽ネットワーク 理事長
静岡市中心市街地活性化協議会 委員
文化庁「日本語教育人材研修カリキュラム等開発事業」地域に資する日本語学校の社会的合意形成と日本語教育人材の育成カリキュラム開発検討委員会 委員